

# 汐風通信

ちようふうつうしん

Number **26**  
2005

関西福祉大学 コミュニティ情報誌

のじぎく兵庫大会ボランティア派遣にむけて  
「輝いて！おかやま大会」視察  
教育懇談会  
第9回汐風祭  
校友会総会



汐風祭のフィナーレを飾るファイヤー。花火が打ちあがったあと、3日間のにぎわいに終止符を打つように、大学祭実行委員の手で点火されました。（関連記事P5）



関西福祉大学  
KANSAI UNIVERSITY of SOCIAL WELFARE

学章（シンボルマーク）について

大きな円は、地球を表し、小さな円は、昇りゆく陽の光が世の中を照らす光となって、きらきら輝くイメージを表しています。この光を両手で支えているのは、大学の教育目的である人間愛に導かれた「福祉の心」を象徴したものです。

汐風通信 Number **26**

関西福祉大学汐風通信 No.26 2005年12月26日発行／関西福祉大学教育後援会  
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3 Phone.0791-46-2525 Fax.0791-46-2526  
大学HP <http://www.kusw.ac.jp/> 教育後援会HP <http://www.kusw.ac.jp/kouenkai/index.html>



## CONTENTS

～のじぎく兵庫大会ボランティア派遣にむけて～ 「輝いて!おかやま大会」視察	P1
教育懇談会	P3
汐風祭	P5
体育祭	P6
ホームカミングデー	
校友会総会報告	P7
市民福祉大学講座	
学生紹介「うちの学生こんな学生!？」	
授業「赤穂学」	P8
看護学部設置認可	P9
幼少児健康教育セミナー	
西播磨地域夢会議	
新刊紹介	
関西福祉大学 ひとくちメモ	
平成18年度 入試情報	P10
編集後記	

## のじぎく兵庫大会 ボランティア派遣にむけて

## 第5回全国障害者スポーツ大会

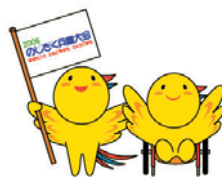
## 「輝いて!おかやま大会」視察



来年10月、地元兵庫県において、のじぎく兵庫大会(第6回全国障害者スポーツ大会)が開催されます。のじぎく兵庫大会は、パラリンピック選考を視野にいれた、全国規模の障害者スポーツの祭典です。

本学では、のじぎく兵庫大会を支援するため、約100名の学生を同行ボランティアとして派遣しますが、来年度の前期には、障害者スポーツ大会のこと、障害に対して配慮すべきこと、接遇マナーなどの学習、障害者スポーツ体験、応援グッズの作成など、大会参加への準備を行います。

兵庫県での開催を前に、今年度開催地である岡山県で、2名の教員とともに学生たちも開会式を視察しました。



のじぎく兵庫大会 (第6回全国障害者スポーツ大会)  
平成18年10月12日(木)～17日(火)



11月5日(土)～7日(月)

の3日間、岡山県で『輝いて!おかやま大会』(第5回障害者スポーツ大会)が開催されました。5日は天候にも恵まれ、皇太子殿下をお迎えしての開会式が行われました。

開会式の選手入場では、地元岡山県出身の木原光知子さん(水泳)、森末慎二さん(体操)、有森裕子さん(マラソン)が、特別応援団として、式典を盛り上げました。歓迎演技では、岡山県にゆかりの深いタンチョウをモチーフにしたクラシックバレエ調の踊り、古代吉備王国の製鉄文化を表現した躍動感あふれるダンス、そして、会場には吹奏楽の演奏者の他、500名近いコーラスの方がおり、素晴らしい開会式となりました。

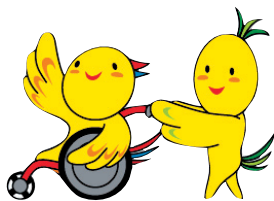
この『輝いて!おかやま大会』(第5回障害者スポーツ大会)は身体・知的・精神の障害を持った人たちが参加している全国大会です。競技種目は、陸上競技、車椅子バスケット、ほか全部で15種目あり、昨年の大会では、フライングディスク競技(ディスクスタンス)で本学の枝川哲也さんが見事優勝しています。



さて、開会式が行われた桃太郎スタジアムでは、午後から陸上競技が行われました。ここでは学生サポーター(ボランティア)が、スタンドから競技場まで選手を案内・誘導していました。また隣接している桃太郎アリーナでは、車椅子バスケットの車椅子が倒れるくらい激しい戦いが繰り広げられました。

視察を通して感じたことを一言で表現すれば、『歓迎する。もてなす』といった意味のホスピタリティです。おかやま大会では全国から参加した人に対し、「歓迎します」という温かな気持ち伝わってききました。

来年度は、のじぎく兵庫大会が開催され、本学の学生も学生サポーターとして多数参加します。おかやま大会で学んだホスピタリティの精神を活かし、のじぎく兵庫大会を盛り上げたいと思います。



# 教育懇談会

10月29日(土)、平成17年度教育懇談会が開催されました。今年度は、第一部として大学の現況報告、続いての第二部では、丸山和也弁護士講演会を開催致しました。

## 会長あいさつ



ひらい やすお 会長  
教育後援会 平井 康夫

関西福祉大学の教育や、さまざまな取組み、学生たちへの指導・支援の現況などについて、大きな関心を持たれ、また、本会の活動への深いご理解とご関心をおもちいただいていることの実れであると、会長といたしまして、お礼申し上げます。次第でございます。

### 平成17年度の主な実施事業

皆さん、こんにちは。教育後援会長の平井でございます。本日は、何かとお忙しい中、教育懇談会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

本懇談会は、本会の会員である我々、関西福祉大学の学生の保護者と教職員の皆さんとのよりよい連携を目的として実施し、非常に重要な行事として、毎年多数の会員のみならずにご参加いただいております。

特に、今年度の出席者は154名と、昨年、一昨年と比べ、参加者が大幅に増加しております。これは、会員の皆様が、

ここで、4月の総会におきましてご承認いただきました、本年度事業(案)に基づいて、本年度前半に実施いたしました主な事業の実施状況の概要につきまして、ご報告いたします。

まず、会報の発行ですが、5月と8月に、それぞれ24号、25号を発行いたしました。これにつきまして、会員の皆さんからお寄せいただいた情報を掲載することも考えておりますので、ご要望がありましたら、大学の教育後援会事務局までご連絡ください。他に、教育振興関係では、

情報処理室・LL教室の器材類の調達及び補修、国際福祉機器展の見学・就職ガイダンス・福祉の就職フェアへの参加のための助成等の就職指導助成部・サークルへの助成などを行っております。また、今年度より、貸付から給付に変更しました。本会奨学金制度につきましては、現時点では利用者はおりません。

後半期につきましても、大学と連携・協力しつつ、計画的に事業を実施していく予定でございますので、引き続き本会の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、汐風通信等を通じてご案内いたしておりますように、大学では、来年4月の看護学部開設にむけ、諸準備を進められております。会長といたしましても、看護学部の開設を控え、社会福祉学部と看護学部の2学部体制下における、教育後援会のあり方について、事

務局と検討を行っているところでございます。主な検討項目といたしましては、名称・組織、事業内容、委員・役員の数、会費、諸規程の改定などが挙げられます。

学部が増えることによる大きな変更は、会員数の増加ということであり、基本的には、現状で実施している事業内容等で、大きく変更を要するようないことは少ないと考えています。いずれにいたしましても、検討結果につきましては、役員会、委員会での検討を経て、ご報告させていただきます。

### 汐風祭の成功にむけて

さて、昨年度までは、本懇談会のなかで、大学の先生から講演をいただいておりますが、本年度は、午後1時より、大学祭実行委員会との共催による講演会を開催いたします。講師は、テレビなどへの出演で、皆さんよくご存知の丸山和也

弁護士です。個性あふれるユニークな内容のお話がお聴きできるものと思いますので、整理券をお持ちの方は、是非ともご参加ください。

また、今日と明日は、大学祭が開催され、学生たちが計画したさまざまなイベントや展示などが行われています。この機会に是非、

ご見学・ご参加いただきまして、学生たちを励ましたいと思っております。会員の皆さんにおかれましても、お時間、都合がよろしい方は、ぜひご見学、ご参加されますようお願いいたします。

## 丸山和也 弁護士講演会

本学大学祭「汐風祭」は、学生たちにとつての一大イベントです。今年度は、大学らしさをアピールできるような講演会を催す企画が予定され、教育後援会といたしましては、学生たちへの支援をかね、教育懇談会第二部を「丸山和也 弁護士講演会」として、大学祭実行委員会との共催開催いたしました。

講師の丸山氏は、現在、TV等でも活躍し、日本テレビ「行列のできる法律相談所」でもおなじみですが、今夏は、24時間テレビで100kmマラソンを完走し、知名度も一段とアップしたようです。その効果あつてか、教育懇談会の出席率は例年以上の伸びをみせ、一般来場者用の整理券もあつという間に、配付終了。

人気の高さをうかがわせました。当日は、会場である今年度新設の大講義棟A100教室での模様を、教室下の学生ホールで、50インチテレビにライブ上映し、一人でも多くの方に楽しんでいただけるよう工夫がされました。

講演会は、取り扱った弁護士やTVの裏話、60歳目前で挑戦した100kmマラソン、近隣の御津町出身であることなど話題にことかかず、またご自身の経歴からも、学生保護者から来場者へ、楽しくバイタリティあふれるお話をお聴かせいただきました。また、学生からの質問にも気軽に答えられ、TVでの印象どおり親しみやすく、笑いのうちにも聴きごたえのある講演会となりました。



# 体育祭



11月23日(祝)、課外活動委員会主催の体育祭が行われました。例年、課外活動委員会では、6月にあじさいまつりを主催し、部・サークルまた一般学生の交流をはかってきましたが、今年度は、「あじさいまつりと秋季球技大会をあわせた大規模なもの」と意気込み、第1回体育祭と銘打った初めての試みとして、開催しました。

参加者は、11団体・91名。シューティングキャッチや大縄跳び、障害物リレーの競技に汗を流しました。優勝団体には賞金が贈られ、そのほかにモファッション賞、塩少



賞(⑨)ハプニングにより体育祭を盛り上げたチームに贈られ、賞品はお塩セツト)などユニークな賞も用意され、大いに盛り上がりました。休憩中には、フオークダンスを行い、学生同士の交流という目的を十分に達成できたようです。課外活動委員会では、「誰でも参加できる競技で、日頃の運動不足やストレスを解消できるよ、来年もぜひパワーアップして開催したい」とのことです。



ファイナルでは、秋の寒空に95連発の花火が打ち上げられ、大祭実行委員会のファイヤーとともに、今年の汐風祭も終わりを告げました。

## おかえりなさい & ようこそ先輩!

### 「第2回ホームカミングデー」開催報告

汐風祭の両日「第2回ホームカミングデー」が開催されました。卒業生がここ関西福祉大学で旧友と思い出を懐かしみ、また新たな出会いと思い出を作る機会となるよう開催されるこの企画。本年は昨年度を上回る167名の先輩が大学を訪れました。集いの場となった喫茶ライム内はまるでタイムスリップしたかのよう、学生時代と変わらない笑顔が溢れました。



## テーマ「オレン大学こないか!？」

昔のおもちゃ作りのコーナーや、今年初めての試みとして、移動動物園ふれ愛〜ZOO〜を開催しました。ステージでは、お笑い王決定戦、赤穂自慢フェスティバル2005、そしてゲスト平川地一丁目ライブと、盛りだくさんな企画で盛り上がりました。屋内でも、恒例となった演劇部公演、吹奏楽部のコンサート、丸山和也弁護士講演会などの人気企画が催され、学内は汐風祭のお祭りムード一色となりました。



本祭2日目には、来場者の方へ福祉大らしさを感じていただけるよう、参加型の車イスバスケットや、音楽療法を紹介する新発見っ! わくわく♪(おんがく) 隊が行われ、開催会場には、来場者の方々の歓声が響きました。また、この日はタレント企画が次々と登場し、岩佐真悠子トークショーと、吉本お笑いライブに千鳥、なかやまきんに君、今年大ブレイクしたレイザーラモンが登場。汐風祭最終日にもかかわらず、大盛況となりました。



# 第9回 汐風祭



10月28日(金)・・・前夜祭  
29日(土)・・・本祭1日目  
30日(日)・・・本祭2日目



# 校友会総会報告

## 平成17年度校友会総会開催

10月30日(日) 関西福祉大学にて平成17年度校友会総会が開催され、次の議題が審議、承認されました。

- (1) 平成16年度事業報告
- (2) 平成16年度収支決算報告
- (3) 平成16年度収支決算監査報告
- (4) 平成17年度事業計画
- (5) 平成17年度収支補正予算
- (6) 事業計画プロジェクトの報告
- (7) 新役員紹介及び役員改選結果報告

校友会は、母校発展の援助を重要な目的の一つとして掲げており、(6)にある事業計画プロジェクトでは「校友会館」の建設計画、校友会奨学金の創設、開学10周年記念事業等、在学生(後輩)の支援のために精力的な活動を行っています。



## 平成17年度市民福祉大学講座

平成17年度市民福祉大学講座が、赤穂市中央公民館と関西福祉大学の共催で開催されました。

当講座のテーマは、『幸せづくり〜福祉とその周辺にみる課題〜』でした。福祉を「人々の幸せづくり」という観点からみつめ、これからの介護保険や介護サービスの提供は、利用者のためにどのように構築されるのかを探りました。また、子どもたちとの関わり方や、播州織女性の歴史など、異分野の学習を通して、幅のある知識が持てるよう講義内容が盛り込まれました。



回	日程	内容	講師
1	10月15日(土)	介護保障の課題と展望	関西福祉大学教授 三友 雅夫
2	10月22日(土)	男性が子育てに関わる意味と余地	関西福祉大学講師 坪井 貴子
3	10月29日(土)	ケアマネジメント	関西福祉大学講師 井上 深幸
4	11月5日(土)	播州織女性の歴史	関西福祉大学助教授 岩本真佐子
5	11月12日(土)	心のつまずきのある思春期の子供達とのかかわりを通して	関西福祉大学教授 坂本 英夫

## 授業「赤穂学」

赤穂市を例として、地域の福祉行政を学ぶことができるよう開講された「赤穂学」。

学生たちは、毎週、財政、福祉、医療、教育など、多様な側面から「赤穂」をさぐり、現況と課題を考察しています。11月18日(金)のテーマは、児童福祉でした。講師として、赤穂市健康福祉部 子育て健康課長 前田氏ほかを迎え、赤穂市で行われている児童の育成プランの紹介や、児童サービスの実態などのレクチャーを受けました。学生たちは、真剣に耳を傾けながら、後半の発言の場では、「地域ぐるみで、育児環境を整えていくようなプランが必要だと思う」「平日しか利用できないサービスを、もっと改善していけばよいのではないか」など、赤穂市の課題を自分たちの問題として受け止め、活発に意見交換を行いました。



## Interview

### うちの学生くんがな学生!?

No.111 藤井 日和さんの友達からスタート!!

No.112



友達の和田さんは? 「やさしくて、おもしろいお兄ちゃん」

わだ けんたろう 和田 健太郎/3年 (大阪府 金光大阪高等学校出身)

「今、特に力をいれて取り組んでいることは何ですか?との質問に、「部活動」と即答。3年次生で、硬式野球部主将となった和田君は、お父さんが野球チームのコーチをしていた影響で幼稚園の頃から野球を始め、今でも野球が大好きだそうです。高校時に、甲子園に出場した経験もあるそう(!!)。部活動は、授業の関係で全員揃っての練習が難しいのですが、年次ごとに週5日の練習をこなしています。練習内容も主将自ら考え「大変だけど、好きな野球のことなので、苦になりません」とのこと。今年の大学祭では、ファッションショーのモデルをしました。そのために、数日間ウォーキングの練習もし(結構本格的?)。汐風祭当日もキレイにウォーキング。みんなに注目されて鼻高々、よい経験ができました。下宿生活の中で、アルバイトは欠かせません。勉強にサークル、アルバイト、仕事をして自分で稼ぐのがどんなに大変か、身をもって実感しているそうです。将来は、人と関わり話をするのが好きなので、フリースタイルワーカーの仕事に就きたい」そうです。

No.113



友達の延藤さんは? 「いつでもどこでもどこでもアムニ」

のぶとう ゆみ 延藤 友美/2年 (岡山県 玉野光南高等学校出身)

お姉さんは、本学卒業生。延藤さんは、高校時代に障害児施設にボランティアに行き、福祉に興味を持ったそうです。ボランティアでは、「はじめは難しく考えていましたが、ハンディをもつ子供たちが、健常児と変わらず「お姉ちゃん、お姉ちゃん」と慕ってくれ、自分が抱いていたイメージが変わりました。体を動かすことが好きで、障害者スポーツに関わる仕事がしたいと思っていますが、その前に海外ボランティアにも挑戦したいとか。電気も水道もないような未開の地で、子供たちの世話をしたいと考えています。そのために、現在アルバイトを3つかけもちし、貯金をしているそうです。今年は、大学祭実行委員会広告局長をひきうけ、汐風祭を成功させるために奔走しました。汐風祭の運営を通し、お金の大切さや言葉遣い、一人で行えることの限界などを学びました。「みんな準備してきたものが実を結んだことに感謝しました!」と、笑顔で話してくれました。

No.114



友達の土居さんは? 「意外とかわいい!?!先輩です。」

どい ひろき 土居 大樹/3年 (兵庫県 相生産業高等学校出身)

2年前、おばあちゃんが特別養護老人ホームに入ることになりました。両親の親は祖母一人だけの今、専門的な介護を学びたいと思い、本学へ入学。3年次生になり、1ヶ月間の実習を体験しました。職員の方の仕事を見ながら、自分が何をしてたらよいのか考える日々が過ぎました。でも、最終日には、一人で介護を任せ、担当した方から「ありがとう」と声をかけてもらった時、こんな自分でも役に立てるのだとすごく感動したそうです。将来の目標は、在宅介護の会社を立ち上げること。自分の家に居ながら、介護の支援を受け、老人が安心して、暮らしているような社会をめざしたいそうです。来年から始まる就職活動。「受けたい会社も決まっているのでがんばります。そして、何年間か勉強し修行を積んで、いつか独立してみせます」と、将来の目標を話してくれました。最近、はまっていることが一つ。先輩に誘われ、海へナマコを取り入れること。(!!)寒くなった今の時期が一番よいそうです。ウェットスーツも自分で、週に一度は潜っています。水中で見る世界に魅了されつつ、自然の神秘を感じています。

No.115



友達の森さんは? 「いつも笑顔のたえないカワイイ後輩です!」

もり はるな 森 春菜/2年 (兵庫県 加古川西高等学校出身)

自宅通学の森さんですが、今年は大学祭実行委員会の渉外局長。3ヶ月間、市内の短期滞在マンションで下宿生活をし、汐風祭の準備期間中は、夜遅くまで委員の皆と企画や準備に明け暮れる毎日でした。功をそうし、汐風祭は両日ともに大盛況。イベントも盛り沢山。タレントの接待、フリーマーケット、そして花火と、終日走り回り、ゆっくりに歩いて祭りを楽しむことはできなかったのだとか。でも、「皆が一生涯懸命仕事をしていたので、自分もがんばれました。やり遂げた達成感を皆と味わえ、よい思い出となりました。今は、汐風祭も終わり、普段の生活に戻りました。入学するきっかけとなった認定心理士をめざし、心理福祉コースの授業に没頭しています。毎回実験を行い、レポート提出もあります。実験は好きですが、レポートは、大変…。「苦戦しつつ、がんばっています(笑)」。明るくて、人当たりがよく、友達からの信頼も厚いようで、「誰にでも公平に接することができ、笑顔がチャームポイント」と、ある先輩の太鼓判が寄せられました。

No.116



友達の安達さんは? 「意外と頼れる存在!」

あだち ゆうすけ 安達 裕介/3年 (兵庫県 明石高等学校出身)

高校時代に小さい頃から続けてきた野球で腰痛になり、治るまでに1年半かかりました。その間、親や友達に励まされたり、助けられたりしているうちに、「次は誰かのために何かをしたい」と思い、福祉の道を選んだそうです。人見知りせず、誰とも気兼ねなく話せるのが自分の特徴という安達くん。今年は3on3サークルの部長を務め、約80人の部員をまとめることを入れました。一番大変だったのは、部員に練習に来るように呼びかけることです。練習日は、来てない部員に電話をかけまくりました。先日、部長も代わりし、花束とケーキと「お疲れ様でした」という言葉に、部長をやったことと心から思ったそうです。部長をききつつ、肩の荷が降り、今は仲の良い先輩が卒業してしまふことが寂しいらしく、そのことで頭がいっぱいです。(!!) 現在、その先輩のために「○○○○」を計画中です。尊敬する人は、ご両親。「どんなところが?」との質問には、親の期待や理想を押しつたりせず「自分の思う道を生きなさい」と言ってくれるところだそうです。親と友人たちに「感謝!!」。

## 看護学部看護学科の設置が認可されました

12月5日(月)に、本学看護学部看護学科の設置が、文部科学省より正式に認可されました。この認可を受けて、12月6日(火)より看護学部公募制推薦入試の出願受付が開始されました。

## 第42回 幼少児健康教育セミナー

平成17年11月27日(日)、コミュニティホールにて、服部伸一助教を世話人として、「第42回幼少児健康教育セミナー」が開催されました(主催 日本幼少児健康教育学会)。  
 「親子で楽しむ手遊び・歌遊び」(香川短期大学 石井浩子講師)、「親子のふれあい遊び」(NPO法人 生涯学習サポート兵庫 山崎清治氏)などの実技講座や、「子どもの睡眠」(関西福祉大学 服部伸一助教)、「子どもの自然体験」(兵庫教育大学 嶋崎博嗣助教)に関する講演などが行われ、40名の参加者が熱心に聴講しました。本学学生も多数ボランティアとして参加し、子どもの健康に関する学びを深めました。

### 新・刊・紹・介

## 福祉分析シリーズ4 『地域福祉分析論』



谷川和昭・井村圭壯 編著  
 学文社 出版  
 2,000円(税別)

平成17年度後期開講科目「地域福祉論」で教科書として採用されている文献をご紹介します。

本書は、福祉分析シリーズとして、①社会福祉分析論、②高齢者福祉分析論、③児童福祉分析論の3冊に続いて発行されました。このシリーズは、筆頭編者の岡山県立大学教授・日本地域福祉学会理事の井村圭壯氏がシリーズ全巻を手がけ、それぞれが独立した編成となっています。

谷川和昭講師が手がけた『地域福祉分析論』は、本学社会福祉分科会の教員をはじめとして、皆の協力をえながら、その集大成として、研究の成果が集約されています。

## 平成17年度 西播磨地域夢会議開催

平成13年2月に策定された「西播磨地域ビジョン」を見直そうと、元気な西播磨を語り合う「西播磨地域夢会議」が開催されます。この会議は、西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局が主催し、「わっ!」と西播磨(人と人をつなぐ『輪』、美しい『環』、和やかな『和』、元気な『ワッ』など様々な「わ」を皆で考え、元気な西播磨をつくろう)をテーマに、今後の西播磨の地域づくりの展開方向や課題について、意見交換を行います。どなたでも参加していただけますので、ぜひご来場ください。

■とき…平成18年2月11日(土)  
 14時~17時(予定)  
 ■ところ…関西福祉大学  
 ■参加費…無料  
 ■お問い合わせ先  
 西播磨地域ビジョン委員会事務局  
 TEL(079)581-2115  
 FAX(079)581-2328

### ひ・と・く・ち・メ・モ

- 開学……………平成9年(1997年)4月
- 学部学科……………社会福祉学部  
 社会福祉学科(4コース)
- 学長……………和田武夫 農学博士
- 教員数……………専任 38名
- 職員数……………41名
- 学生数……………1,192名
- 教員一人あたりの学生数…31.4名
- 奨学生数……………448名(約37.5%)
- 卒業生数……………5期累計 1,255名
- 社会福祉士合格者数…5期累計 377名
- 精神保健福祉士合格者数…5期累計 83名
- 敷地……………61,092㎡
- 延床……………13,643㎡

平成17年12月26日現在

## 社会福祉学部 社会福祉学科

項目	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	80名		25名
出願期間	【郵送による出願】平成18年1月6日(金)~1月19日(木)〈消印有効〉 【窓口持参による出願】平成18年1月20日(金)10:00~17:00(当日のみ)		平成18年2月20日(月)~2月28日(火)〈消印有効〉
試験日	平成18年1月26日(木)	平成18年1月29日(日)	平成18年3月6日(月)
試験科目	英語・国語・世界史・日本史・数学の中から2科目選択		英語または国語の1科目選択
試験会場	本学・名古屋・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・福山・高松	本学・東京・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・松山・福岡	本学・名古屋・大阪・広島
合格発表	平成18年2月5日(日)		平成18年3月14日(火)

## 看護学部 看護学科

項目	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	35名		5名
出願期間	【郵送による出願】平成18年1月6日(金)~1月19日(木)〈消印有効〉 【窓口持参による出願】平成18年1月20日(金)10:00~17:00(当日のみ)		平成18年2月20日(月)~2月28日(火)〈消印有効〉
試験日	平成18年1月26日(木)	平成18年1月29日(日)	平成18年3月6日(月)
試験科目	英語・国語の中から1科目選択と数学・生物・化学の中から1科目選択の合計2科目選択		英語・国語・数学の中から1科目選択
試験会場	本学・名古屋・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・福山・高松	本学・東京・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・松山・福岡	本学・名古屋・大阪・広島
合格発表	平成18年2月5日(日)		平成18年3月14日(火)

※入試内容等については、平成18年度学生募集要項で必ず確認してください。

### 編集後記

子どもが犠牲になる悲惨な事件があつたをたない。被疑者の多くは身勝手な理由により犯行に及んで、講義は「子どもをどうやって守るか」という法に偏重しているように思われるが、順番が逆のような気がする。まず、まともな大人を育てる。これが優先課題であらう。まともでない大人が、年齢や職業や性別を問わず、国中いたるところで悪さをしている。違法精神旺盛で、かつ誠実な、まともな大人をつくる方法を確立しなければ、凶悪犯罪も汚職も耐震偽装もなかならないだろう。(S)

今回初めて、学生インタビューで汐風通信の編集に携わりました。普段から学生の方と話す機会は多いのですが、「フットノート」などを具体的に聞くのは初めて。こころとばかりに根掘り葉掘り聞いてみたい。話を聞いてみると、自分の目標に向かって頑張っている姿が見えて、とても応援したくなりました。目標ややる気のない若者が増えていくといわれている昨今。まだまだ日本も捨てたもんじゃななと思わせてくれた学生たちへ感謝。(N)

「長夜夜の 遠の眠りの音も覚め 波乗り船の 音のみぞかな」。この書いた紙で帆掛け船を折り、枕の下に入れて眠ると、よい夢をみる事ができるそうです。昔のことは、日々の生活のなかで、こころからゆつたりと気分をもちあわせていたのかなあ。ゆつたり船にゆられながら、笑顔で福をちかえましょ。わたやかな願をふんで、来年がよい年でありますように。(O)

## 一般入試